

高める

「国際産業戦略港湾」として
モノづくり産業を支える総合的な港湾を目指して

名古屋港

- 東南アジア向け貨物量の増加やコンテナ船・自動車運搬船の大型化に対応するため、岸壁等の整備を推進！
- 輸送コストの削減を実現し、背後地域のモノづくり産業の国際競争力向上に貢献！

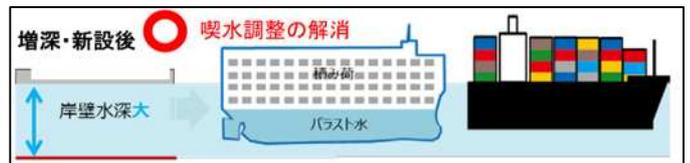
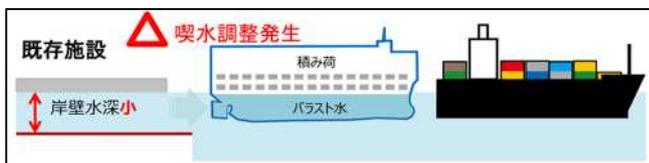
コンテナ船や自動車運搬船の大型化

- ・ 東南アジア航路に就航するコンテナ船の大型に伴い、同航路を中心とする名古屋港飛島ふ頭東側コンテナターミナルでは、水深 15m 岸壁の不足により、就航する船舶の約半数が喫水調整を強いられている。
- ・ 近年、満載で水深 12m を必要とする 60,000GT 以上の自動車運搬船の入港隻数が増加しているが、水深不足による喫水調整が行われ、非効率な運航が生じている。



岸壁等の整備により、輸送コストの削減が実現

- ・ 飛島ふ頭(R1/R2)岸壁、金城ふ頭(W84)岸壁の増深や、金城ふ頭岸壁の新設等により、喫水調整が回避され、年間 16.3 億円の輸送コストの削減が実現



16.3 億円/年の輸送コスト削減が実現